NETIS登録番号	技術名称	強化かごﾏｯﾄ
QS-120018-A	副題	IR被覆鉄線による特殊区間に使用可能なかごﾏｯﾄ

分類1	河川海岸	多自然型護岸工	かごﾏｯﾄ	安全・安心、コスト縮減・生産性の向上、公共工事の品質確保・向上
分類2				

開発目標	耐久性の向上、経済性の向上、安全性の向上
技術の位置付け	☐ 推奨技術　☐ 準推奨技術　☐ 活用促進技術　☐ 設計比較対象技術　☐ 少実績優良技術
特許	☐ 有り（特許番号：　　）　☑ なし
技術賞，審査証明等	☐ ものづくり日本大賞　☐ 国土技術開発賞　☐ 学会賞　☑ 建設技術審査証明

問合せ先	会社名	かごﾏｯﾄ工法技術推進協会	TEL	03-3504-2023
	住所	東京都港区虎ノ門1-11-5	E-MAIL	rands@kagomatto-kyokai.jp
	担当者	高田　潤一郎		

実績件数	国土交通省	その他の公共機関	民間等
H26年8月31日現在	5件	5件	0件

従来河口部などでは、亜鉛アルミ合金メッキ鉄線を芯線とする被覆鉄線を使用していたが、
本技術は多自然型護岸工法の低密度ポリエチレン被覆かごﾏｯﾄであり、経済性、品質、安全性
の向上が期待出来る。

期待される効果
・3種亜鉛メッキ鉄線のIR被覆鉄線に変えたことにより、経済性が向上した。
・IR被覆鉄線の使用により耐塩性、耐酸性、耐腐食性を向上させた。
・10mmと2.5回巻きにしたことで腐蝕しろが多くなっているため耐久性が向上した。
・摩擦抵抗があり安全性が向上した。
・IR被覆鉄線は強靭で適度の弾力性と柔軟性を持つ樹脂（アイオノマー樹脂）を被覆
　した線材です。
　アイオノマー樹脂は、ゴルフボール、スキー靴などに使用される素材であり、激しい
　衝撃力や温度変化に耐えうる特徴を持つ。

新規性
・芯線を従来の亜鉛アルミ合金メッキ鉄線から3種亜鉛メッキ鉄線とし、IR被覆鉄線
　（低密度ポリエチレン被覆線）とした。
・本体部末端加工に1.5回巻き+腐蝕しろ10mmにし、上蓋部末端加工を2.5回巻きに
　変えた。

適用範囲
　適用可能な範囲
・代表流速が6.0m/s以下の河川
・多段式　1:03.～1:1の勾配　高さH=5.0まで
・平張り式　1:1.5より緩い勾配

　特に効果の高い適用範囲
・PH5以下の河川水が流れている区間

・塩化イオン濃度が年平均450mg/L以上の河川水が流れている区間
・腐蝕土に覆われた区間
・供用後も水辺の安全な利用を必要とする区間（今回の性能規定より）